

# 山梨県庁舎別館展示施設整備 基本計画

山 梨 県

平成25年3月



## 目次

### 第1章

#### 計画の概要

- 1-1 計画策定の背景 .....1
- 1-2 計画の位置付け .....2
- 1-3 別館の文化財的価値 .....3
- 1-4 別館展示施設の設置目的 .....6
- 1-5 利用者層 .....7

### 第2章

#### 基本コンセプト

- 2-1 展示整備の基本コンセプト .....8

### 第3章

#### 展示の考え方

- 3-1 展示展開の考え方 ..... 12
- 3-2 展示全体構成 ..... 14
- 3-3 展示展開イメージ ..... 16
- 3-4 各室の展示イメージ ..... 17

### 第4章

#### 展示内容

- 4-1 人物の展示 ..... 25
- 4-2 県政のあゆみ等の紹介 ..... 30
- 4-3 周辺施設等への周遊性をもたせる仕組み .....31

### 第5章

#### 運営管理の考え方

- 5-1 運営管理 ..... 33

### 第6章

#### 整備スケジュール

- 6-1 整備スケジュール ..... 34

- 資料編 ..... 35



# 第1章

## 計画の概要

## 1-1 計画策定の背景

### 県庁舎別館を、郷土への愛着とにぎわい創出の施設として整備します

山梨県には、「甲州財閥」をはじめとし、明治以降の近代において様々な分野で活躍した多くの先人達があります。これらの先人達の活躍にスポットを当てるとともに、県政の歴史などを紹介し、未来の山梨の発展に向けて、県民に伝えていく必要があります。

山梨県庁舎の1つである別館（旧本館）は、昭和初期の建設当時の意匠を多く残し、県政の歴史や近現代に活躍した山梨ゆかりの人物の功績等を伝えるにふさわしい建築物です。

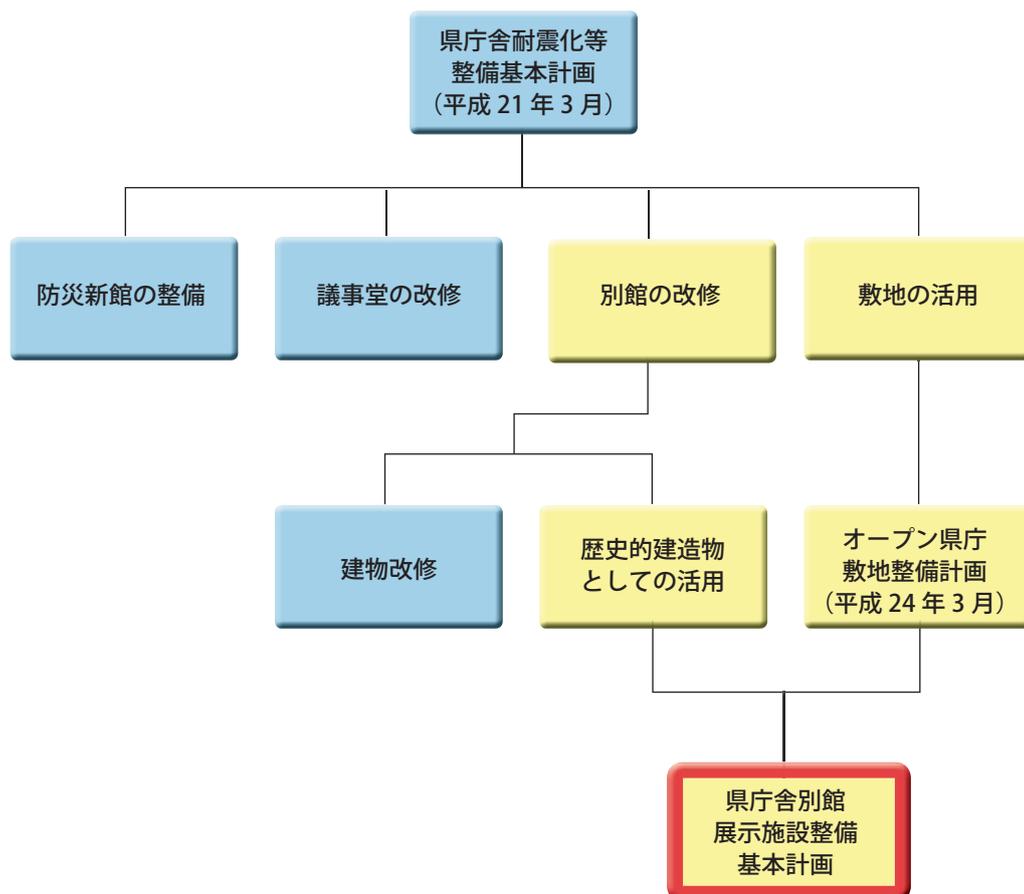
このため、山梨県では、県指定有形文化財である山梨県庁舎別館（以下「別館」という）について、県民や観光客等に積極的に公開し活用を図っていくとともに、中心市街地の活性化やにぎわいの創出に配慮し、利用者に身近で利用しやすい県庁とするため、別館の改修事業に合わせ、館内に展示施設を整備することとしました。

## 1-2 計画の位置付け

### 耐震化を機に、より多くの方に活用される施設をめざします

計画の策定に当たっては、「県庁舎耐震化等整備基本計画」（平成21年3月策定）に基づき、①耐震性能の確保、②バリアフリー化、③省エネルギー化、④文化財に配慮した改修などを行う中で、現状における別館の文化財的価値を維持しながら、県庁舎として有効に活用していくことに留意します。

- 「県庁舎耐震化等整備基本計画」（平成21年3月策定）
  - ・大規模災害時の防災拠点
  - ・活気やにぎわいを創出する場
  - ・県庁敷地のオープン化
- 「オープン県庁敷地整備計画」（平成24年3月策定）



## 1-3 別館の文化財的価値

### 山梨県の発展とともに歩んできた歴史的建造物です

別館は、昭和初期から現在までの山梨県の発展とともに歩んできた、貴重な歴史的建造物です。

別館は昭和5年に建てられた鉄筋コンクリートの建物で、建築面積2087.43㎡の3階建てで一部地下室があります。正面玄関はポーチ付きで、屋根は陸屋根（アスファルト塗り）です。平面形及び正面形は山梨県をイメージした「山」の字形をかたどっているといわれています。

その後、4階部分を増築するなど、一部改変が加えられていますが、主要な部分は建築当時の姿をよくとどめており、昭和初期の歴史の香りを今に残す建物です。

### 《次世代の山梨県民に残したい、魅力ある文化財》

別館は、建築から80年を超える歴史的な価値とともに、文化財として以下のような魅力を備えています。

- 意匠は在来にはみられないアール・デコ様式で、単純であるが重厚な外観と静的な内部空間である。
- 県庁舎の平面形及び正面形が山の字を形取り、軒瓦の瓦頭の紋様とともに郷土性が豊かである。
- 玄関ポーチに使用した花崗岩は塩山産である。大理石は道志村で産出された材で、マントルピースや階段ホールの独立柱に使用したものは一級品と言われている。
- 大理石貼りの石材模様は、3種類を適度の場所に使用し、2・3階ホールの柱台、腰壁部分の装飾、各柱頭飾りや階段正面の壁面の装飾など重厚な感がある。
- 各室では建具、暖炉、内装などが残る部屋もあり、当時の形式や装飾が偲ばれる。
- 公共建築などが明治期、大正期の木造、煉瓦造、昭和期の鉄筋コンクリート造と外観・構造・意匠・機能性とともに大きく進歩する好例である。

### 文化財としての価値に配慮した補修・修復を行います

こうした文化財的な価値は、県議会議事堂と並んで、県教育委員会編集の「山梨県の近代化遺産」（平成9年刊行）において、質・規模・意匠のいずれの面からも貴重な遺構として報告されています。また、平成19年の別館等の専門家現地調査の中で外観、玄関、中央階段、旧知事室、旧内務部長室及び旧正庁において装飾、部位等は価値が高いと評価されています。

「県庁舎耐震化等整備基本計画」においては、エントランスホール、中央階段吹き抜け廻りや旧正庁、旧知事室、旧知事応接室及び旧内務部長室は、ほぼ創建時のままと考えられることから、意匠の保存に配慮した補修・修復を行うこととしています。

## 【別館の意匠】

### 外観

「平面形」及び「正面形」に  
「山」の字をかたどった山梨  
固有の意匠



### 1階中央階段ホール

独立柱や床、壁面の大理石貼りは道志産で一級品  
三種類の石材を適所に使用し  
見事な模様を表している



天井部からの採光  
(トップライト) 構造  
葡萄のレリーフを照らしている



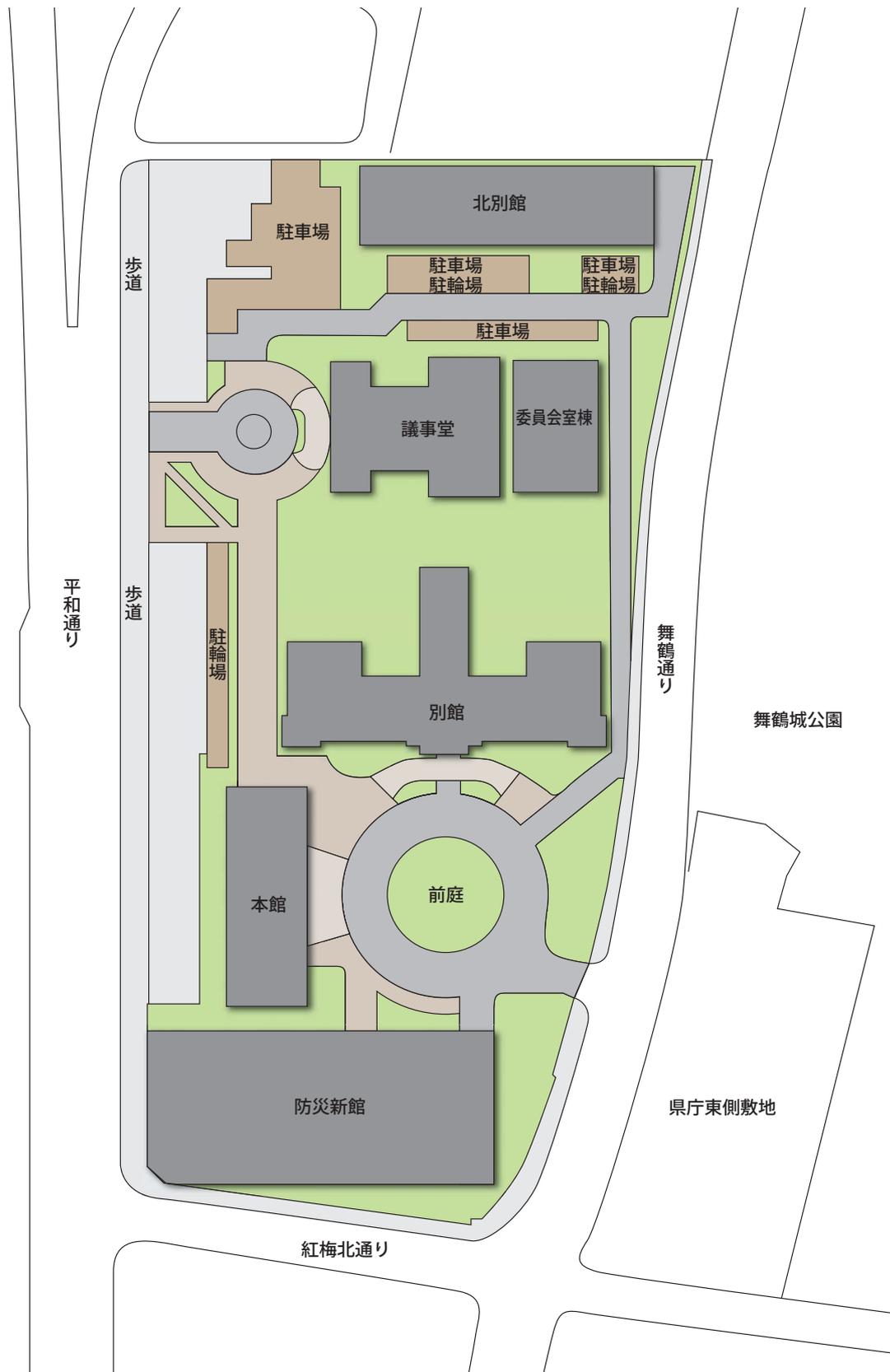
旧知事室出入口扉  
格調高く重厚感がある意匠



旧正庁扉



【県庁敷地整備イメージ図】



## 1-4 別館展示施設の設置目的

別館は、山梨県のあゆみを象徴する貴重な文化遺産であるとともに、山梨県の発展を支えてきた幾多の先人達の思いが詰まった建物でもあります。先人達が山梨県を舞台にどのような活動をしたのか、時代を超える記憶が、この建物には刻まれています。

こうした別館の特徴を活かし、県内外の多くの人に山梨県の魅力を知ってもらうために、別館内に展示施設を整備し、公開活用します。

### 県指定有形文化財である別館の文化財的価値を活かします

昭和初期のアール・デコ様式の意匠や、現在の建築物では見られない大理石の内装など、別館の文化財的価値を最大限に活かし、展示空間として有効に活用します。

### 県政の歴史とともに、本県発展の礎を築いた先人の功績を情報発信します

さまざまな分野で活躍し、山梨県ひいては日本の発展を支えた先人達の功績を、広く情報発信します。山梨県の歴史や先人達の偉業を再発見し、郷土への誇りと愛着をもって頂きます。

### 県内各地の博物館や周辺施設などとの周遊性を確保します

利用者を県立博物館など他の博物館や甲府城、防災新館内に設置する甲府城石垣展示室など周辺施設へ誘導する機能・仕組みを持たせます。

### 多くの人を訪れる一般開放施設としてにぎわいの創出を目指します

山梨県の新たなシンボル、観光資源の一つにふさわしい、魅力的な展示室を目指します。また、誰にも身近で利用しやすいオープンな施設として、にぎわいの創出に寄与します。

## 1-5 利用者層

### 多彩な利用者層にあわせた魅力づくりを推進します

先人達の功績を通じて山梨県のあゆみを知ってもらうために、本施設は次の利用者層を想定しています。県庁敷地のオープン化、文化財としての建物の活用に主眼を置き、各利用者層に応じた魅力づくりも検討していきます。また、昭和初期の建物を活かした空間づくりを行うことで、古き良きものを活用する姿勢を幅広い利用者層にアピールしていきます。

#### ○子ども：先人達の思いや生き方への共感

小中学校の学校教育での活用を想定します。県内の各学校の総合的な学習や社会科の授業、調べ学習や自由研究、遠足などでの活用などが考えられます。子ども達に、郷土の礎を築いた先人達の思いに共感し山梨の未来について考えるきっかけを提供します。

#### ○県内から甲府駅周辺や県庁を訪れた方々：郷土への誇りと愛着

県内からの利用者を想定します。甲府駅周辺を訪れた方々や、用事があって県庁を訪れた方々にも気軽に利用していただけるよう、誰もが立ち寄りやすい開かれた施設を目指します。別館の文化財としての価値を感じてもらうほか、人物ゆかりの様々な施設を紹介します。山梨県の魅力と人物を再発見することで、郷土への誇りと愛着を再認識するきっかけとします。

#### ○県外からの観光客：何度でも訪れたい想い出づくり

観光で山梨県を訪れる方々を想定します。本施設で山梨県の魅力にふれていただき、県内の他の博物館や史跡などいろいろな観光スポットを紹介することで、次回の来訪につながる思い出を持ち帰っていただきます。

#### ○県外からの来訪者（ビジネスマン）：魅力ある山梨の再発見

近年、ビジネス客に対する観光促進などの取り組みが注目されています。所用の前後、列車の時間や待ち合わせ時間までの時間調整などの際に気軽に本施設を利用してもらうような工夫を検討します。困難にチャレンジして目的を成し遂げてきた山梨の先人達の功績にふれ、ビジネスマンとして、一人の人間として山梨をより身近に感じていただきます。

# 第2章

## 基本コンセプト

## 2-1 展示整備の基本コンセプト

山梨県の豊かな自然・風土はそこに住む人に対して様々な恵みをもたらすとともに、猛威となって牙をむくこともありました。こうした環境の中で先人達はあるときには自然と共生し、また、ある時にはあえて苦難に挑んでいく気風を育みながら活動を繰り広げることで、本県はもとより国内外の発展の礎を築くことに大きく貢献してきました。

本施設は、「甲州財閥」をはじめとする山梨県ゆかりの近代の先人達によって培われた「魅力ある歴史」を掘り起こして紹介し、訪れる方々が「山梨の良さ」を再認識し、未来を生きるためのヒント・指針を発見していただけるように整備します。本施設が次世代の人づくりに寄与するとともに、産業や教育のさらなる活性化や振興に向けてのエネルギーとなることを目指します。

### 【展示整備コンセプト】

## やまなしを「再認識・発掘・発見」する

### 1 知っている山梨を 再認識

山梨の自然や風土を改めて捉え、この土地で生まれた人々を育んだ環境について学び、さらに先人達の活躍を知ること、山梨の良さを再認識します。

### 2 知らなかった山梨を 発掘

多彩な分野にわたる多くの人材が日本の経済・産業・文化の発展に寄与してきました。その人物がどのような考えで物事にぶつかっていったのか、人物の言葉から発掘していきます。

### 3 未来の山梨を 発見・創造

様々な業績を残した人々の言葉や、これまでの県政の歴史をふりかえることから、未来に向けて糧となる言葉を発見し、未来のやまなしを創造するきっかけとします。

【展示施設名称】

# 山梨近代人物館（仮称）

【ストーリー】

## 先人との出会い

未来の山梨を切り拓くヒントが詰まった山梨ゆかりの先人達の活動を紹介します。

## 先人を深く知る

各人物のより詳しい情報を調べることができます。人物ゆかりの地も紹介し、まち歩きへといざないます。

## 往時を知る

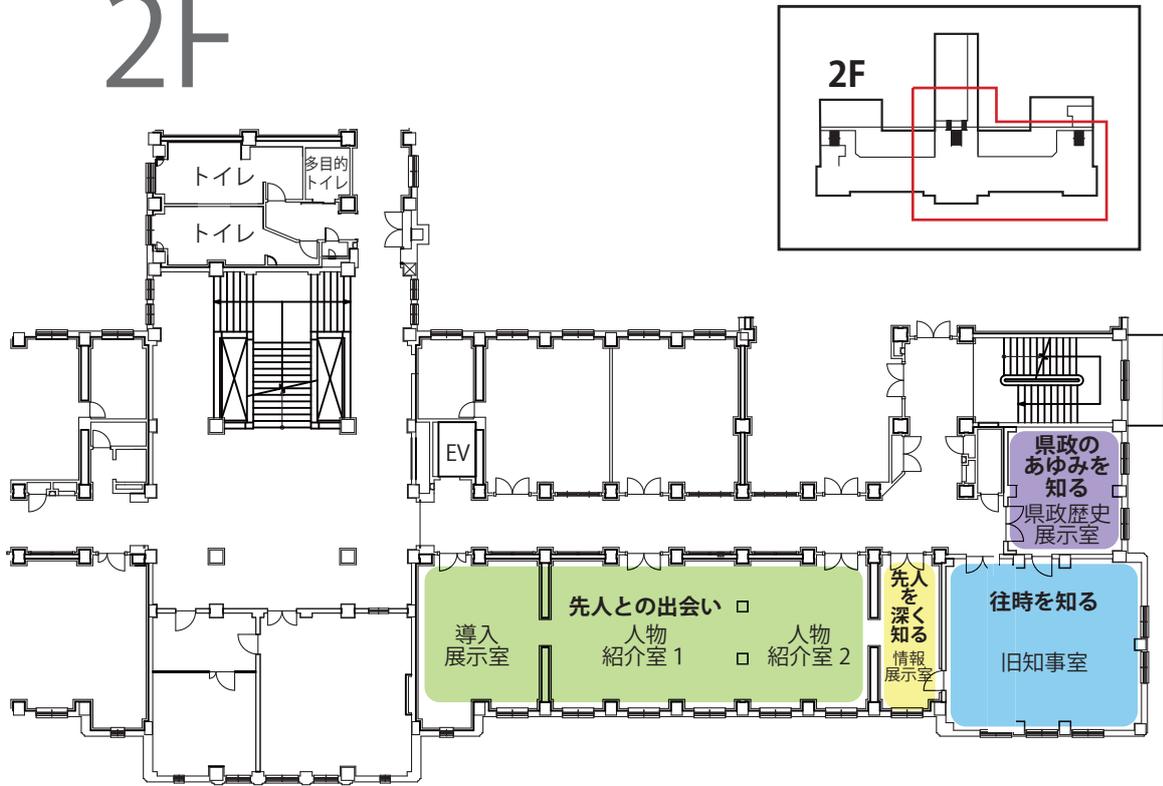
修復された旧知事室・旧正庁の姿から、山梨の歴史を肌を感じ、先人達の作ってきた山梨のあゆみを辿ります。

## 県政のあゆみを知る

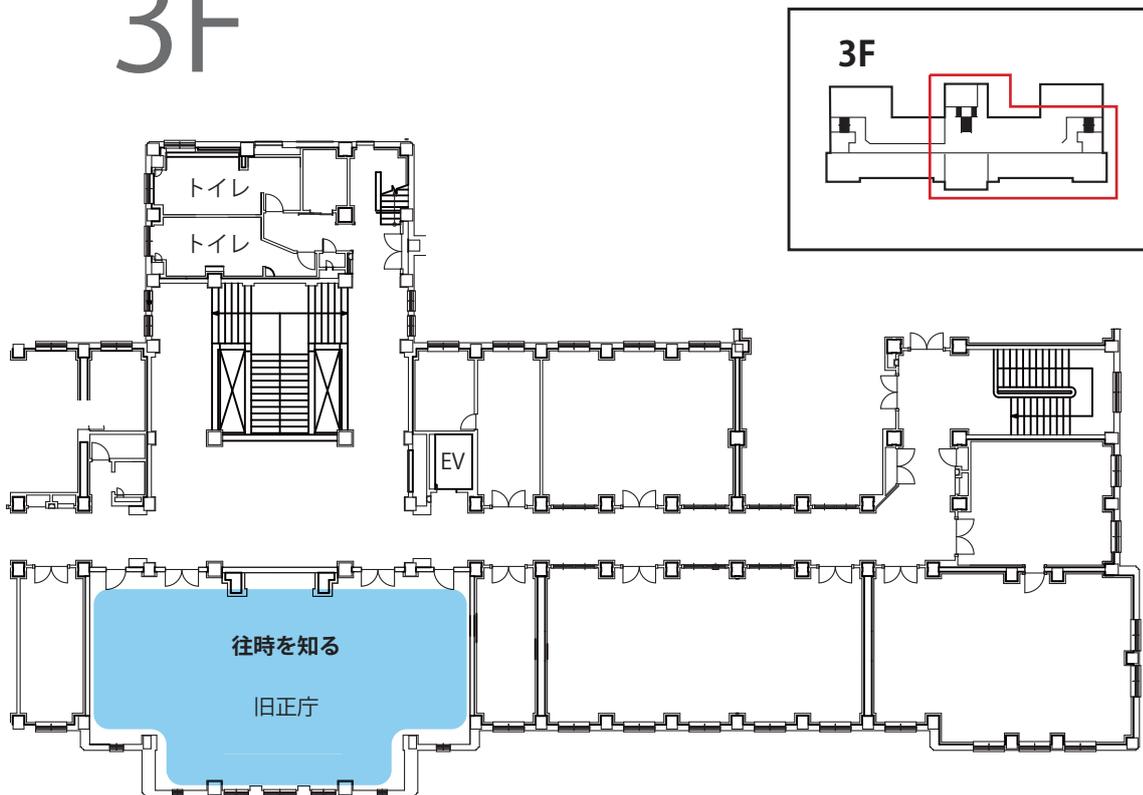
県政の歴史を知ること、山梨の未来に思いをはせます。

【展示室の概要】

2F



3F



## 〈展示の概要〉

### 導入展示室・人物紹介室・情報展示室：約 175㎡

先人の功績を紹介する展示コーナーとします。あわせて、県内における先人ゆかりの施設等を紹介するコーナーを設け、県内各地へと誘導します。

### 旧知事室：約 75㎡

静謐な空間の中で山梨の歴史に思いを馳せることができる空間を実現させるために、旧知事室を創建時の姿に修復し、当時の知事執務の情景を知ることができるコーナーとします。

### 県政歴史展示室：約 32㎡

旧知事応接室を創建時の姿に修復し、これまでの県政のあゆみなどをゆっくり閲覧しながら、訪れた人同士で気軽に談話ができるコーナーとします。

### 旧正庁：約 170㎡

創建時の姿に修復し、空間全体の雰囲気を活用し、主として特別な会議や記念式典を挙げるコーナーとします。また、会議等で使用しない場合は一般公開します。





# 第3章

## 展示の考え方

## 3-1 展示展開の考え方

### (1) 展示展開の方向性

本施設の展示展開にあたっては、今日の山梨をつくってきた先人達の活動や功績を、誰にもわかりやすく紹介することに重点をおきます。また、他の博物館や周辺施設の情報を提供し、誘導することにより、にぎわいの創出を図ります。

#### 先人達の功績をわかりやすく紹介するための工夫をします

山梨県の風土や県民性からテーマを設定し、それぞれのテーマにあわせたストーリー性をもって先人達の功績を紹介します。誰もが興味をひかれるエピソードを映像で紹介するなど、ビジュアルを中心とした展示とし、子どもの関心もひきつける体験型の仕掛けも用意します。あらゆる年代の利用者がそれぞれに楽しめる展示展開を行います。

#### 利用者を他施設へ誘導するための情報提供を行います

情報コーナーを設置して、県内各地の博物館・美術館・文学館や甲府城などの周辺施設へ誘導するとともに、まち歩きのルート等を利用者に情報提供していきます。

#### 更新性に配慮した展示とします

何度訪れても新たな発見が得られるよう、定期的に展示替えを行います。そのため、展示内容の更新に配慮した展示手法を検討します。

## (2) 資料保存の配慮

別館は県指定有形文化財であるため、歴史資料としての公開と保存の両立が求められます。文化財である建物への影響の少ない展示方法、資料の劣化や損耗の少ない展示手法など、貴重な文化財・資料の保存に関する配慮を徹底します。

### 県庁敷地内の文化財を紹介します

山梨県庁の敷地内には、平成22年3月まで第一南別館があり、また別館同様、県指定有形文化財である県議会議事堂もあります。展示では、これらの文化財の記録も併せて紹介します。

### 歴史的建造物に配慮した展示を行います

長い歴史を経て守り伝えられてきた別館を後世へと残していくため、従来からの壁や床面などの保護に配慮した展示とします。また、建物そのものも展示としてお楽しみいただけるように配慮した空間構成とします。

### 様々な展示手法を駆使します

温湿度や警備等の問題から、パネルやレプリカなどの2次資料の展示を中心とし、映像などを効果的に組み合わせたダイナミックな展示手法とします。

## (3) 誰もが何度も楽しめるための配慮

誰もが楽しめ、何度訪れても新たな発見がある。利用者のそんな喜びを生み出す展示展開を目指します。

### ユニバーサルデザインに配慮した展示とします

誰もが楽しめるユニバーサルデザインは、本施設の展示の重要なポイントです。幅広い世代に理解していただけるよう展示解説文にはルビをふり、人による展示案内も検討します。また、車椅子での利用者でも展示を間近に見ていただける展示什器とします。

## 3-2 展示全体構成

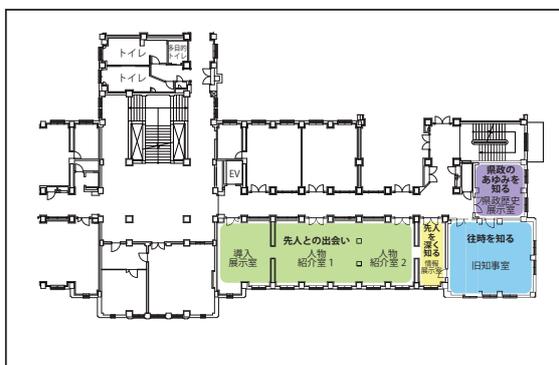
### 先人と出会い、先人を知り、郷土のあゆみをふりかえる やまなしを「再認識・発掘・発見」する展示構成

	項目	中項目	内容	
先人との出会い	導入展示室	I 山梨の豊かな自然・風土によって育まれた「山梨県人の県民性」	山梨の多様な自然・風土が「厳しい自然や気候状態を乗り越えてあえて苦難に挑む進取の気性」という県民性を育んだことを紹介します。	
		II 現在に息づく山梨の先人達のチャレンジ魂	様々な「はじめて」に挑戦した先人達の活動を紹介します、未来の山梨を切り拓くヒントが見つかるコーナーとします。	
	人物紹介室1		1 様々な事業のさきがけだった山梨の先人達	鉄道事業、製糸事業、観光開発事業等々、様々な事業の「さきがけ」となった活動を山梨の先人達が行っていたことを紹介します。
			2 信念を持った山梨の先人達	山梨の先人達が様々な活躍をするにあたり、どのような考え方・態度で臨んだのかを紹介します。
			3 国際人としての自覚を持った山梨の先人達	国際的に活躍した山梨の先人達の姿を紹介します。
			4 交通は人と地域を結ぶ	近代山梨発展に向けての一大プロジェクトであった「中央線笹子隧道」に見立てた通り道を設け、笹子隧道や中央線、またそれにまつわる山梨と様々な地域とのつながりの歴史を紹介します。笹子隧道の出入口に明治を代表する政治家である伊藤博文・山県有朋の揮毫文があることから、関わりのある山梨の先人達を紹介し、人と人との様々なつながりを紹介します。
	人物紹介室2		III 自然・環境と向き合った山梨の先人達	山梨県の先人達はどのように自然・環境と向き合ったのか？その姿を紹介することで、自然と人との関わり方についてのヒントが詰まったコーナーとします。
			1 山梨の先人達にとっての自然	先人達が山梨の自然をどのように捉えていたのかを紹介します。
			2 山梨へ還れ	先人達が山梨という故郷をどのように捉えていたのかを紹介します。

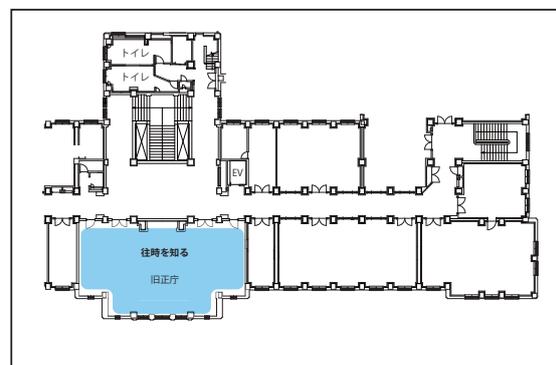
	項目	中項目	内容
先人を深く知る	情報展示室	山梨まるごと探索	県内各地の先人館や山梨県立博物館をはじめ、県内各地の様々な博物館・美術館・文学館の展示・イベント情報を紹介し、実際に各館へと誘導するきっかけづくりの場とします。
		旧知事室	旧知事室を建設当時の状態に修復・再現し、別館の文化財としての趣きを味わっていただきます。
往時を知る	旧正庁	旧知事室修復	旧知事室を建設当時の状態に修復・再現し、別館の文化財としての趣きを味わっていただきます。
		旧正庁修復	旧正庁を建設当時の状態に修復・再現し、別館の文化財としての趣きを味わっていただきます。
県政のあゆみを知る	県政歴史展示室	旧知事応接室修復	旧知事応接室を建設当時の状態に修復・再現し、別館の文化財としての趣きを味わっていただくとともに、県政歴史展示室として整備。県政のあゆみや、県議会議事堂、旧第一南別館等、県庁敷地内の文化財に関する情報を紹介します。
		県政の歴史紹介	

※人物紹介室のテーマ（中項目）は展示替えとともに交替で行う。

2F ゾーニング図



3F ゾーニング図







## 3-4 各室の展示イメージ

### 先人との出会い (導入展示室)

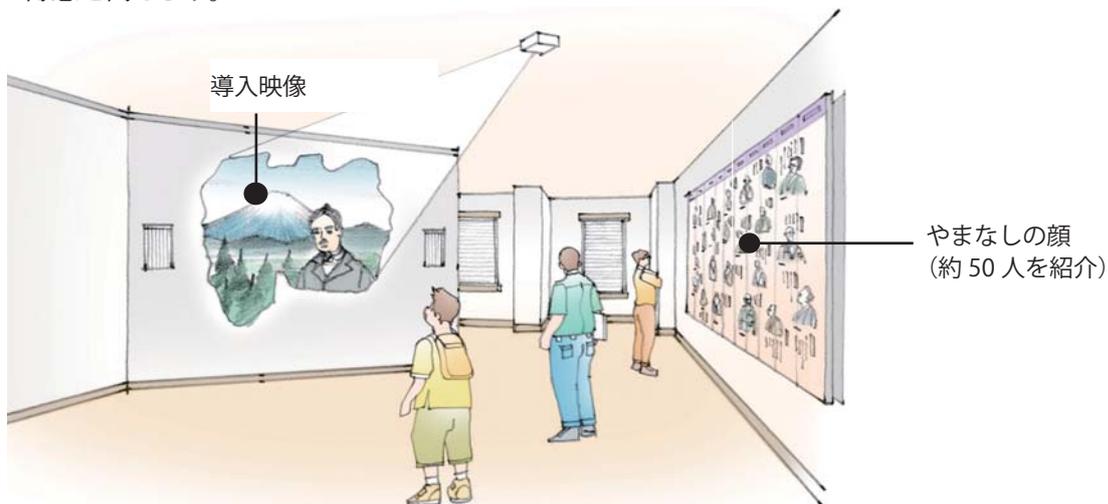
#### Ⅰ 山梨の豊かな自然・風土によって育まれた「山梨県人の県民性」

### やまなしの心と顔を象徴的に伝える導入展示

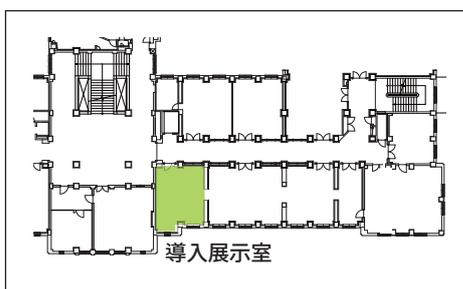
展示の導入として、山梨県の風土(四季や地形など)をイメージ映像と効果音で紹介し、その自然が山梨県人の「厳しい自然や気候を乗り越えてあえて苦難に挑む進取の気性」を育んだことを利用者に伝えます。

また、この施設で取り上げる人物の顔や、功績のあらまし等を紹介する「やまなしの顔」グラフィックを設置します。

さらに、壁面や床面に山梨の先人の言葉を投影するなどして、次に続く展示への利用者の期待感を高めます。



2階平面図



## 先人との出会い（人物紹介室1）

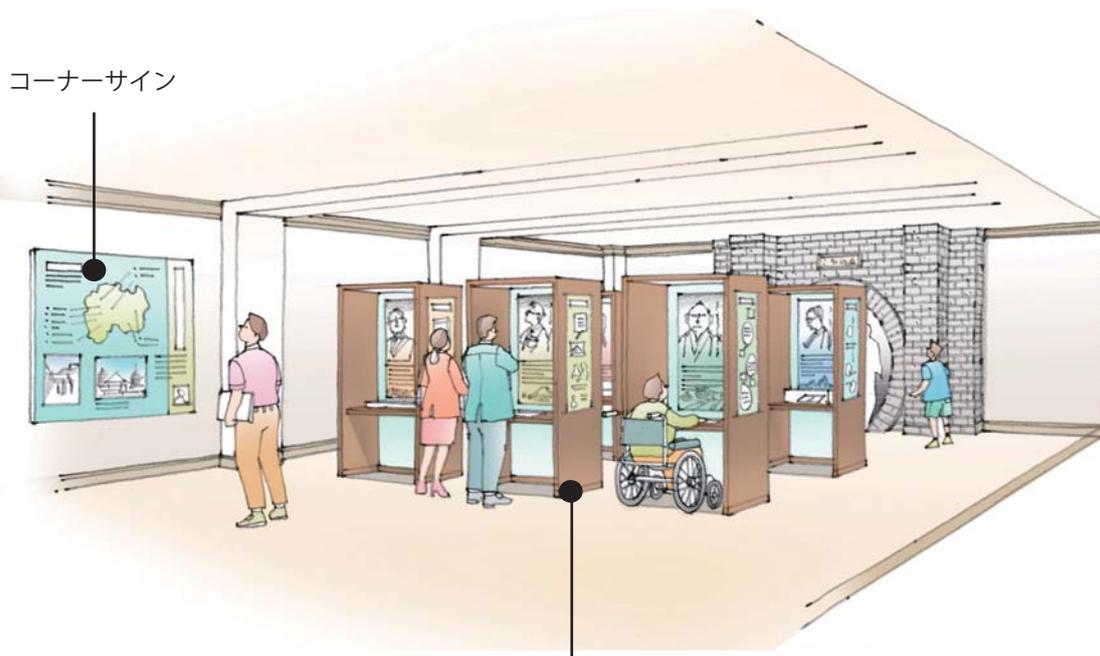
### II 現在に息づく山梨の先人達のチャレンジ魂

#### 様々な「はじめて」に挑戦した先人達を、 「さきがけ」「信念」「国際人」という3つの切り口で掘り下げる

全国でも様々な「はじめて」に挑戦した先人達の活動を紹介し、未来の山梨を切り拓くヒントが詰まったコーナーです。

様々な事業のさきがけだった山梨の先人達、信念を持った山梨の先人達、国際人としての自覚を持った山梨の先人達という3つの視点から、人物を紹介します。また、人物にゆかりの深い資料や解説映像も併せて紹介していきます。

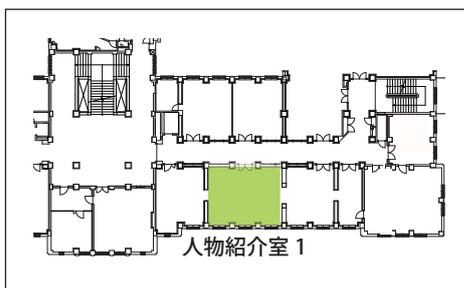
より多くの人物を紹介するため、展示替えのしやすい、グラフィックの貼替えが可能なユニット什器とします。



コーナーサイン

人物紹介ユニット

2階平面図

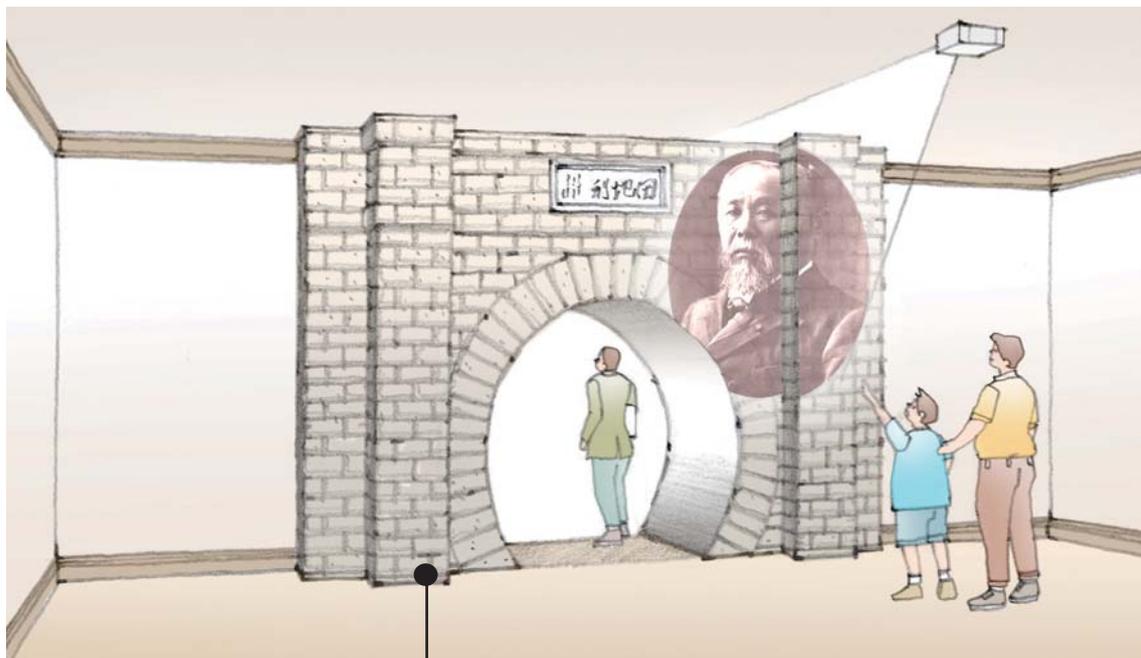


## 室内に設けられた「中央線笹子隧道」に投影される、 知られざるエピソード

ここまで紹介した山梨県人のチャレンジ魂と、次の部屋で紹介する「自然・環境と向き合った山梨の先人達」をつなぐ展示として、近代山梨発展に向けた一大プロジェクト「中央線笹子隧道」を模型で再現し、そこに笹子隧道建設にまつわるエピソードを紹介する映像を投影します。

### 映像について

笹子隧道の出入口には明治を代表する政治家伊藤博文・山県有朋の揮毫文があります。両氏と笹子隧道の繋がりや笹子隧道建設にまつわるストーリー等を用意し、投影します。映像が投影されていない時間は山梨の山など自然の風景を投影し、美しい空間を演出します。



笹子隧道風造作

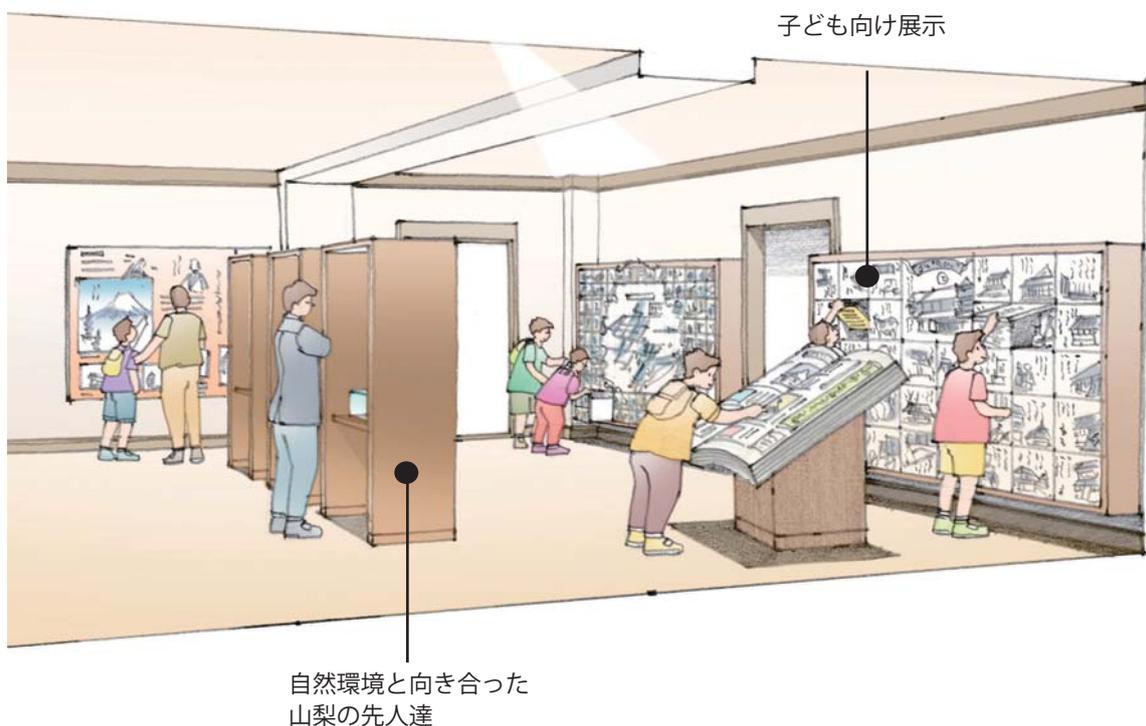
## 先人との出会い（人物紹介室2）

### Ⅲ 自然・環境と向き合った山梨の先人達

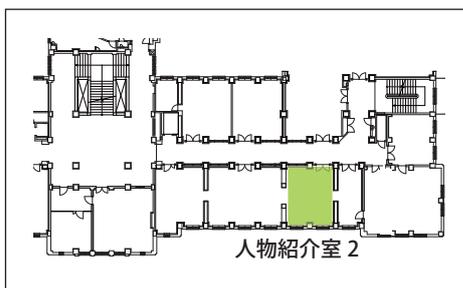
#### 子どもの興味もひきつける仕掛けで、未来へのヒントを楽しく学ぶ

山梨の先人達はどのように自然・環境と向き合ったのか、その姿を紹介することで、自然と人の関わり方についてのヒントが詰まったコーナーとします。

子どもが楽しめる展示を設置し、本施設で取り扱っている人物が山梨でどんな功績を残したのか楽しく学べる工夫をします。別館の空間を損なわないよう、近代の双六などをモチーフとし、双六の各コマがひきだしになっていたり、回転式のパネルになっていたりする仕掛けで、子ども達が興味を持って知識を引き出せる展示とします。



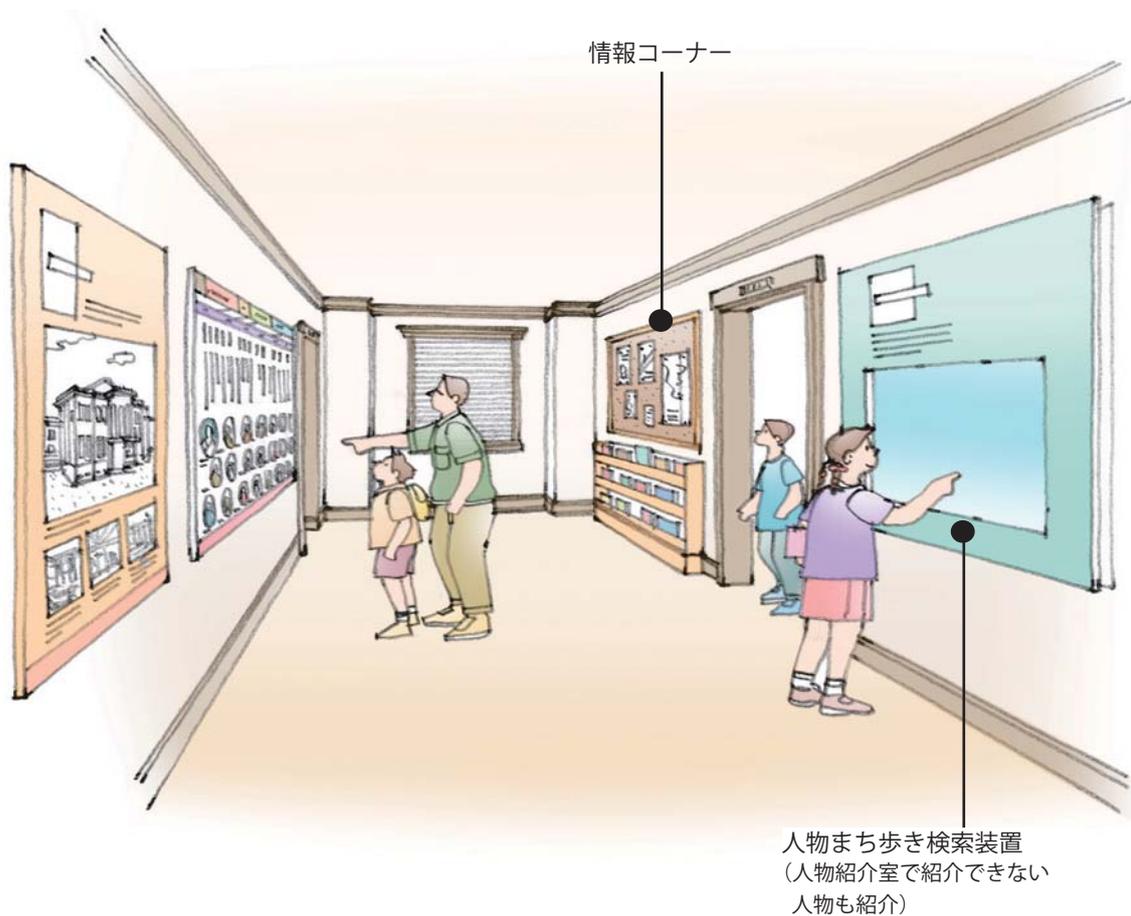
2階平面図



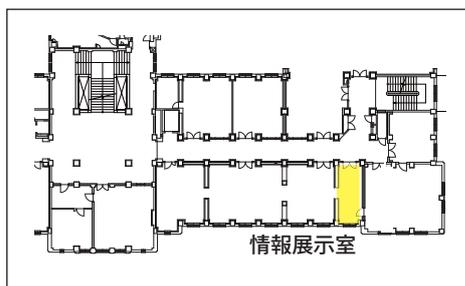
## 先人を深く知る（情報展示室）

### 検索システムをはじめとする情報提供で、先人達への興味・関心を他の施設へとつなぐ

県内各地の先人館の紹介や人物に関する情報を検索できるシステム、県内各施設のパンフレットや開催中の企画展のポスターを掲示するコーナーを用意し、利用者が他施設へ周遊するきっかけを提供します。県議会議事堂・別館・旧第一南別館等についても併せて紹介します。



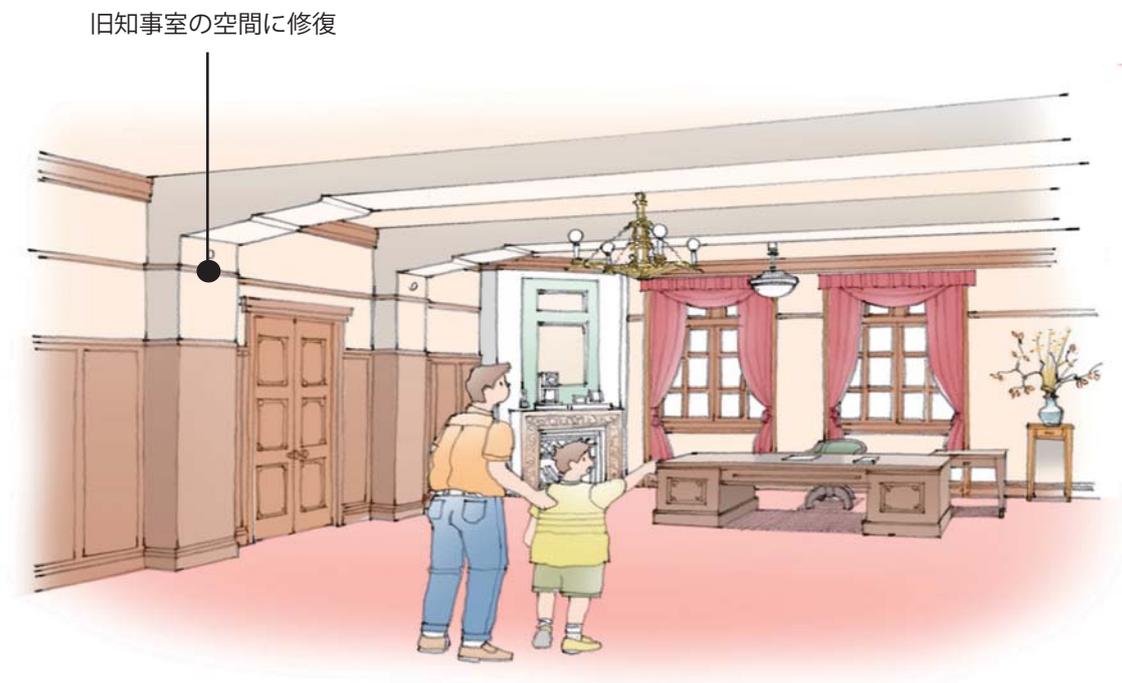
2階平面図



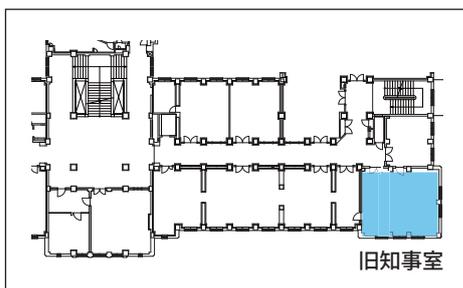
## 往時を知る（旧知事室）

### 時を超えてよみがえる、80余年前の知事室

旧知事室の内装修復に合わせて、机、椅子などを創建時の様子に再現します。また、利用者の方に県指定有形文化財である別館の意匠を楽しんでいただける空間とします。



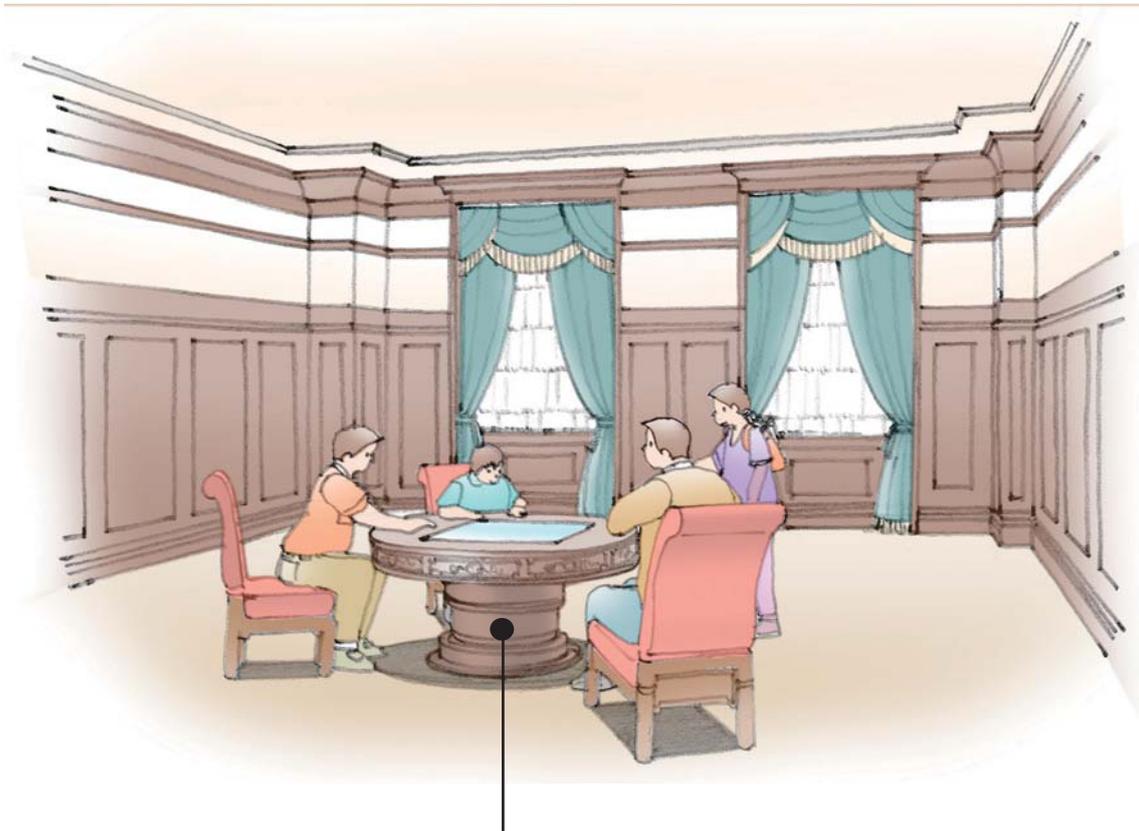
2階平面図



## 県政のあゆみを知る（県政歴史展示室）

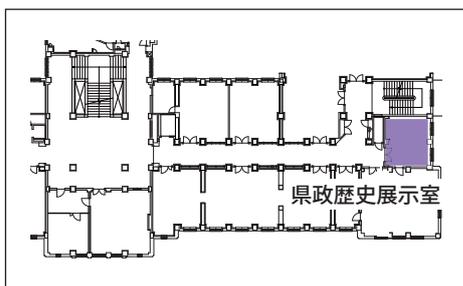
### テーブルに埋め込んだモニターが映し出す、山梨県政のあゆみ

旧知事室と同様に、創建時の姿に修復します。空間を最大限に見ていただくために、県政に関する年表等は壁面等には置かず、中心に設置するテーブルの中にモニターを埋め込み、その中で県政の歴史とともに、山梨県庁舎の中でも文化財的価値の高い県議会議事堂、別館や旧第一南別館等に関する情報も併せて表示します。



県政歴史モニター

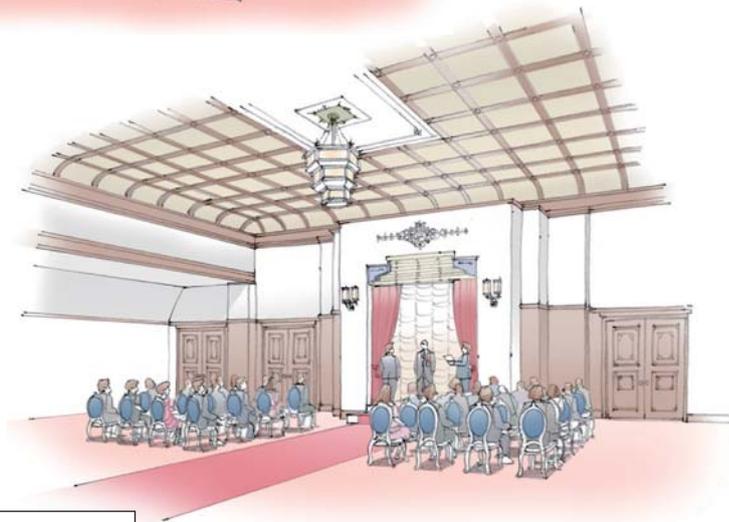
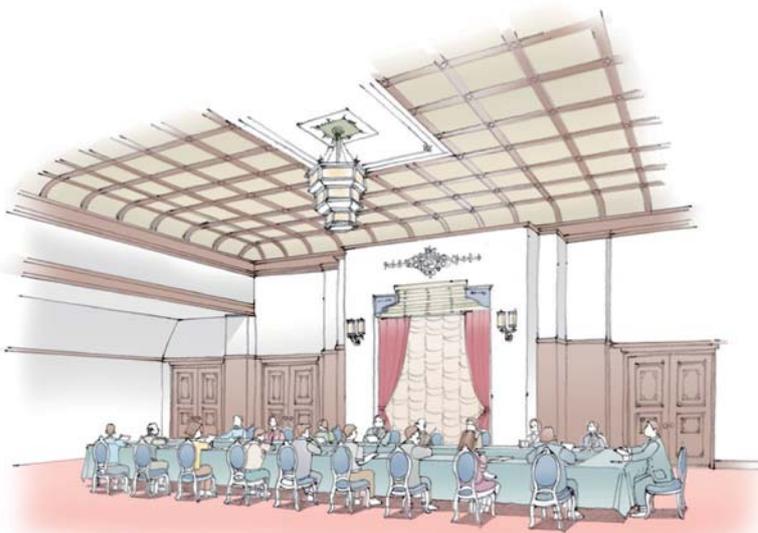
2階平面図



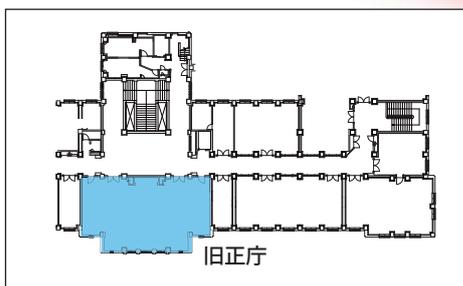
## 往時を知る(旧正庁)

### 創建時の姿に修復し、式典や特別な会議等に活用

旧知事室と同様に、創建時の姿に修復します。空間に合わせたアンティーク調の椅子や、会議用のテーブルを設置しますので、実際に式典や特別な会議等で使用することも可能です。会議等で使用しない場合は、一般公開します。



3階平面図



# 第 4 章

展示内容

## 4-1 人物の展示

### (1) 人物選定基準

本施設では、山梨県の発展に貢献した人物や、山梨県出身で国内外で活躍した人物を紹介します。一定の基準を設け、やまなしを「再認識・発掘・発見」するためにふさわしい人物を選定します。開館後の調査・研究の進展に伴い、新たに紹介する人物を追加する場合には、有識者による検討を行うこととします。

#### 【対象人物の選定基準】

- 概ね明治時代から戦前までに活躍した山梨ゆかりの先人を対象とします。
- 活躍した分野は特に限定せず、農林業、政治・経済、福祉・医療、外交、郷土研究、教育、美術・文芸など幅広い分野から人物を選定します。
- 存命中の人物は扱わず、客観的に歴史的評価がなされた人物から選定します。
- 本県出身者に限らず、本県の発展に貢献した県外出身の人物も対象とします。
- 県外で活躍した本県出身者も対象とします。
- 先人を紹介するに当たって十分な資料等がある人物とします。

## (2) 展示の対象となる人物例

**浅川 巧** (1891—1931 北杜市 朝鮮陶磁器研究、林業ほか)

残すべき言葉：

**「山に木を植えることは自然を美化するつもりで植えて居るのだ」**

浅川巧は幼い頃から自然をこよなく愛し、農林業の紹介に一生を捧げました。朝鮮に渡ってから、はげ山の植林活動に従事し、朝鮮の緑化に大きく貢献をしました。

**雨宮 敬次郎** (1846—1911 甲州市 鉄道事業ほか)

残すべき言葉：

**「物事は、先の先と後の先とがある」**

先の先を取ると、いちいち自分で試験を試みなければならぬ。ところが後の先を取ると、他人がすでに実見したものをそのまま踏襲することが出来る。(だから) 後の先の方が利益がある、という意味の言葉です。

**石橋 湛山** (1884—1973 東京都 内閣総理大臣ほか)

残すべき言葉：

**「常に自国の為めと云う観点を失わず、之に依って外交を指導するのが、即ち自主外交だ」**

第二次世界大戦後の日本が世界平和に貢献するためのあるべき理想の姿として、日本は独立国として主体的に外交を展開する必要があることを述べた言葉です。

**小川 正子** (1902—1943 笛吹市 ハンセン病治療)

残すべき言葉：

**「次の時代にはもう二度と、(らい病で) こうして泣く人達の無い国を善い正解を皆が持つ事のできる為に、この辛い仕事をして歩くのが私の小さい使命であったのだ…」**

小川正子は伝染病である癩病(らい ハンセン病)患者の救済に尽力しました。ただ、そのためには、十分な医学知識が広まっていない当時あって、大きな困難を伴っていました。この言葉はそうした彼女の心の葛藤から出たものです。

**小林 一三** (1873—1957 韮崎市 鉄道事業、文化事業ほか)

残すべき言葉：

**「自分の計算から出発せざること」**

事業の基本はあくまで他人の立場に立つということ。小林一三は顧客主義の立場から様々な独創的事業を成功させました。

**根津 嘉一郎** (1860—1940 山梨市 鉄道事業、電力事業ほか)

残すべき言葉：

**「世の中で独立独歩ほど尊いものはない。人の世話をするとともに人の世話にならないと云ふ心懸けが大事である」**

数多くの会社の経営立て直しに関わった根津嘉一郎。彼の経営理念は「独立独歩」の精神である。そのことで信用が生まれ、事業のための資金が集まるという考えで、全国有数の事業家となりました。

※各人物の活動分野については便宜的に付したものです。実際には同一人物が多分野にわたって活動している場合もあります。

### (3) 人物の紹介方法

#### 多くの先人を紹介し、山梨を築いてきた人の輪を伝えます

今日の山梨を築き上げるのに多くの方々の努力があったことを伝えるため、前述の人物選定基準を満たす人物から、できるだけ多くの先人を紹介することが求められます。しかし、展示に活用できるスペースが限られているため、展示室には「人物紹介ユニット」を設け、一度に9人分の先人を紹介しますが、定期的に人物を入れ替えることでより多くの先人を紹介できるようにします。また、内容を随時更新することで、いつ来ても新鮮な展示を提供し、リピーターを増やすことを目指します。

#### ①展示室での紹介

##### 【基本的な考え方】

9つの「人物紹介ユニット」には「財界人」「文学者」などのテーマを設け、それぞれのテーマに合った人物を選んで順次紹介していきます。情報更新が容易なデジタル情報や映像を活用したコンテンツを制作して、子どもやお年寄りをはじめ誰にでも分かりやすく紹介していきます。

##### 【対象人物】

人物選定基準に当てはまる先人を対象として、各ブースのテーマに併せて選定していきます。開館時には、情報更新を円滑に行えるよう、50人程度のコンテンツを準備します。

##### 【人物紹介ユニットについて】

##### ○利用者に関心を持ってもらうためのグラフィック

利用者に興味を持ってもらうために、情報端末のモニターに近づいて覗き込まなくても一目で内容がわかるようにします。先人の姿や功績を分かりやすくまとめた大型のグラフィックを配置し、先人が生前残した言葉や、人物を端的に表現する他者の言葉をキャッチフレーズとして効果的に掲載して、利用者の好奇心を刺激します。

##### ○詳細内容を紹介するためのタッチパネル

人物の略歴や功績、グラフィックで紹介している言葉が発せられた背景などはデジタル情報として紹介します。各グラフィックの前にタッチパネルを設置し、来訪者の興味関心に応じて好きな項目を見ていただきます。先人同士のつながりや、関連人物等の情報も併せて紹介します。

グラフィックイメージ



## ②検索システムでの紹介

### 【基本的な考え方】

- ・山梨の先人およびその先人にゆかりのある人物について利用者自身の興味関心に応じて検索し、調べることができます。
- ・山梨の先人ゆかりの地やその人物についてより詳しく学べる施設を紹介し、利用者をその場所へ誘う役割と機能を持たせます。
- ・簡単に情報内容を追加・更新できるシステムとします。

### 【対象人物】

- ・人物選定基準に当てはまる先人を対象として、およそ50人程度を紹介します。
- ・各先人の功績や略歴等の説明に必要となる、先人にゆかりある人物も紹介します。
- ・先人やゆかりある人物以外にも、今後の調査研究の進展のなかで本施設で取り上げるべきと判断された人物については、追加掲載を検討していきます。

### 【検索システムについて】

- ・本検索システムは、展示室では紹介しきれない情報を利用者が調べることができます。
- ・利用者が容易に検索できるように、キーワード検索、人名50音検索、地域検索など複数の検索項目を設定します。
- ・人物ゆかりのまち歩きルートや、人物を紹介している施設等を表示させ、人物についてより深く、楽しく学べる情報を提供します。



## 4-2 県政のあゆみ等の紹介

県政歴史展示室内のモニターでは、山梨県政のあゆみ年表や、山梨県庁舎のなかでも文化財的価値の高い、県議会議事堂、別館や旧第一南別館等を紹介します。

### モニターイメージ



トップメニューで選択



県政のあゆみ  
県政の歴史を年表で表示

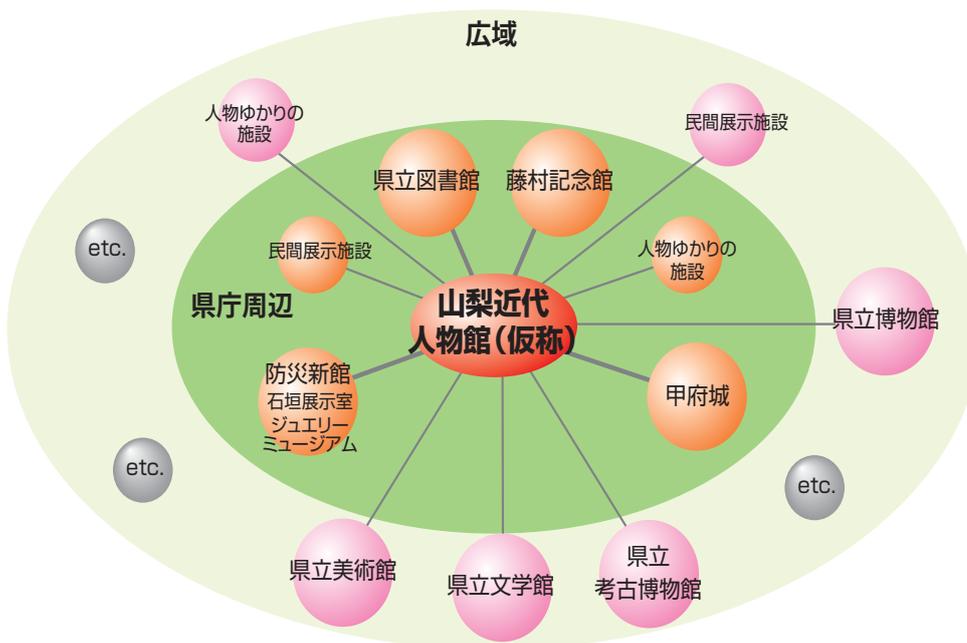


写真や映像とともに、解説文が表示

### 4-3 周辺施設等への周遊性をもたせる仕組み

山梨県内には、県立博物館、県立美術館をはじめとし、山梨県ゆかりの人物を紹介している施設や史跡が多数存在します。本施設への来訪をきっかけとして、利用者を県内の関連施設へ誘い、周遊性を確保することを目指します。

#### 【周辺施設との連携イメージ】



#### 【紹介の対象となる施設】

- ・本施設で取り扱う人物を紹介している各種博物館等
- ・本施設で取り扱う人物ゆかりの地 等

#### 【各施設への案内方法】

- ・まち歩きルートの情報提供
- ・人物まち歩き検索装置内で人物を紹介している施設やゆかりの地等の紹介
- ・館スタッフによる説明や他施設の紹介
- ・情報コーナーでの県内博物館他各種施設のパンフレット設置

## 【山梨県内人物紹介展示施設一覧】

人名	紹介博物館・資料館
浅川巧	浅川伯教・巧兄弟資料館（北杜市郷土資料館）
浅川伯教	浅川伯教・巧兄弟資料館（北杜市郷土資料館）
雨宮敬次郎	山梨中銀金融資料館（甲府市） 山梨県立博物館（笛吹市）
伊藤うた	韮崎市ふるさと偉人資料館
大村主計	山梨県立文学館（甲府市）
小川正子	笛吹市春日居郷土館・小川正子記念館
河西豊太郎	嘯月美術館（南アルプス市）
栗原信近	山梨中銀金融資料館
小林一三	韮崎市ふるさと偉人資料館 山梨県立博物館
杉浦健造	風土伝承館杉浦医院（昭和町）
高野正誠	メルシャンワイン資料館（甲州市） 勝沼ぶどうの国文化館（甲州市）
土屋龍憲	メルシャンワイン資料館 勝沼ぶどうの国文化館
内藤多仲	南アルプス市立櫛形図書館
根津嘉一郎	根津記念館（山梨市） 山梨中銀金融資料館 山梨県立博物館
藤村紫朗	甲府市藤村記念館
望月百合子	望月百合子記念館（富士川町）
若尾逸平	山梨中銀金融資料館 山梨県立博物館



# 第5章

## 運営管理の考え方

## 5-1 運営管理

### 民間のノウハウを活かした効率的な運営を検討します

#### 【運営体制・方法】

本施設の運営や展示監修は教育委員会が担うこととしているが、その具体的な運営については、展示案内・展示物等の監視、システムメンテナンス等の業務をNPO法人や展示業者等の民間へ外部委託し、委託先の職員を展示施設に常駐させ、民間のノウハウを活かした効率的な運営を行うことを今後検討していきます。

#### 【人員】

本施設は、県指定有形文化財である別館の建物自体を公開するとともに、多くの人物の功績を紹介することから、文化財そのものの扱いや、山梨県の歴史等に関する知識が豊富であり、来訪者の視点に立って説明できるような人材を配置することを検討します。

また、県内他施設へと利用者を誘導する機能を有することから、県内の他の施設についての知識を豊富に持った、ガイドの役割を担う人材の起用を検討します。

#### 【開館日等】

下記の案を基本に検討します。

- ・開館時間 午前9時～午後5時
- ・休館日 週1回又は月2回程度（土、日、祝日は原則オープン）
- ・観覧料 無料
- ・展示替えの頻度 年2回程度

# 第6章

## 整備スケジュール

## 6-1 整備スケジュール

以下の整備スケジュールをもとに、平成27年3月の開館を目指し整備を進めていきます。



※展示を設計するに当たり、山梨県立博物館で開催される企画展「山梨の近代人物と鉄道」(平成25年7月20日(土)～9月2日(月) 予定)の内容も反映します。

---

## 資料編



## 県庁別館展示施設整備検討委員会設置要綱

## (設置)

第1条 山梨県発展の礎を築いた「ふるさと山梨の先人」の功績を広く伝えていくとともに、県政の主な出来事やあゆみを紹介する展示施設の整備内容等を検討するため、県庁別館展示施設整備検討委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

## (組織)

第2条 委員会は、知事が委嘱する者で構成する。

## (任期)

第3条 委員の任期は、委嘱の日から平成25年3月31日までとする。

## (検討事項)

第4条 委員会は、展示施設の整備に係る、次に掲げる事項に関して検討を行うものとする。

- (1) 展示施設の設置目的・基本コンセプト
- (2) 展示する人物の選定
- (3) 展示構成・展示手法
- (4) 管理・運営方法
- (5) その他展示施設の整備に必要な事項に関すること

## (委員会)

第5条 委員会に委員長を置く。

- 2 委員長は、委員の互選による。
- 3 委員長は会務を総理し、委員会を代表する。委員長に事故あるときは、あらかじめ委員長が指名する委員がその職務を代理する。
- 4 委員会は必要に応じ、事案に係る者を委員会の会議に出席させ、意見を求めることができる。

## (事務局)

第6条 委員会の事務を処理するための事務局は、総務部管財課及び教育委員会学術文化財課の共管とする。

## (委任)

第7条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が別に定める。

附 則 この要綱は、平成24年4月20日から施行する。

## 県庁別館展示施設整備検討委員会 委員名簿

氏 名	役 職 ・ 所 属 等
江宮 隆之	作 家
齋藤 康彦	山梨大学 教授
萩原 三雄	帝京大学大学院 教授
早川 源	山梨総合研究所 副理事長
古屋 知子	県立美術館協力会 会長

※ 五十音順、敬称略

## 検討委員会開催状況

	日 時	議 事
第 1 回	平成 24 年 4 月 27 日 午前 10 時～	①整備及び検討委員会スケジュールについて ②展示施設の設置目的等について ③その他
第 2 回	平成 24 年 7 月 20 日 午後 1 時 10 分～	①展示施設のイメージ（規模・手法）について ②対象人物の整理、検討について ③その他
第 3 回	平成 24 年 10 月 26 日 午後 1 時 20 分～	①展示施設のコンセプト及び名称について ②ゾーニング及び展示手法・構成について ③対象人物について ④運営・管理について ⑤その他
第 4 回	平成 25 年 2 月 14 日 午後 2 時 15 分～	①別館展示施設整備基本計画（案）について ②県民等からの意見について ③その他